

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)		百貨店(店舗企画)	販売量の動き	・化粧品売場のリモデルのプラス効果、人気映画のDVD発売、客動員企画等により前年を上回っている。免税売上も2か月連続で前年を上回っている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数がやや増加している。また、客単価が若干上がっている。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・気温が上がってきて、観光客、県民も外を歩く割合が増えたように感じられる。
		旅行代理店(マネージャー)	販売量の動き	・前年度とほぼ同水準の販売量だが、グループ旅行が増えている。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・3月と比べると落ち着いてはいるが、販売数は前年を割ることなく続いており、景気も上向き傾向にあると感じられる。
		住宅販売会社(営業担当)	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比27%増、前年同月比27%増と、増加している。
		一般小売店[靴・袋物](経営者)	来客数の動き	・商店街でも、居酒屋や単価の低い飲食店の方は客が入っているようであるが、そのほかの小売店は、今一つだとみられる。
		住宅販売会社(代表取締役)	お客様の様子	・戸建て住宅や投資建築などの相談案件をバランス良く抱えている。
		商店街(代表者)	競争相手の様子	・商店街では物販店の売上が落ちており、物販店が閉店すると、次に入ってくるのはほとんどが飲食関連である。そして飲食店同士で足の引っ張り合いをする状況に陥っているようである。
		観光型ホテル(マーケティング担当)	販売量の動き	・3か月前も客室稼働率は前年割れしていたが、今月は更に前年同月実績からのマイナス幅が大きくなってしまっている。
		観光型ホテル(代表取締役)	来客数の動き	・沖縄全体の観光入域客数は伸びている。しかし新しいホテル、宿泊施設が大幅に増えており供給過剰気味で、競争が激しい。他のホテルとも情報交換しているが、ほぼ半数は客室稼働率が前年を下回っている。
		x	その他飲食[居酒屋](経営者)	競争相手の様子
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-	-
		食料品製造業(総務)	受注量や販売量の動き	・4月下旬からの10連休効果や清明祭効果が出ており、消費ムードは例年同月より良い感じである。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共向け出荷は前年比ほぼ横ばい、民間向けは増、全体でやや増となっている。
		輸送業(経営企画室)	取引先の様子	・商談等にて取引先の様子をうかがっているが、特に3か月前からの変化が感じられない。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前月に消費税増税前の駆け込み契約が殺到したので、その反動で今月は全くない。
	x	-	-	-
雇用 関連  (沖縄)		-	-	-
		学校[専門学校](就職担当)	求人数の動き	・年度初めのせい、求人票が好調である。企業の採用意欲の高さがうかがえる。
		人材派遣会社(総務担当)	求人数の動き	・求人数は引き続き多い。
		求人情報誌製作会社(編集室)	求人数の動き	・4月の週平均件数879件は、1月の923件と比較すると、マイナス44件である。4月は4週発行で、そのうち最終発行の1週は西海岸の大型商業施設の求人89件プラスされている。
	x	-	-	-